

平山小学校危険箇所改善要望及び対策一覧

通し番号	危険箇所	現状	改善要望	回答内容	危険箇所	対策必要箇所	対策者							備考	
							学校・教育委員会	交通管理者(警察)	道路管理者			緑と清流課	その他		
									市道路管理者	区画整理課	都道路管理者				
1	平山4-18 南平3号踏切付近	朝の時間帯は電車の本数も車両の通行量も多く、車両と児童との接触の恐れがある。歩道と踏切の間に横断歩道がないため、踏切から歩道へ渡る際も車道を乱横断しなければならず危険。このため歩道へ渡らずそのまま車道を歩く児童もいる状態。	踏切と歩道の間に横断歩道の設置	道路管理者(東京都住宅供給公社)と協議の上設置について検討していきます。	○	○		○							
2	南平9丁目 たちばな公園への横断歩道 幹線市道Ⅱ-23号線	・交通量が多く、歩行者スペースも狭いため児童と車両の接触の恐れがあり危険である。 ・道路沿いに住宅が増えているが、たちばな公園の横断歩道以外に横断歩道がない。	道路沿いに横断歩道の設置	近隣に既存の横断歩道があるので、新規設置は難しいです。	○	-		-							
			外側線の引き直し	外側線の引き直しを検討する。	○	○			○					R6での外側線復旧を検討	
3	平山4丁目 平山小西側道路と都道旧道との交差点	・児童が登校の際に利用する際は、ブロック塀が道沿いにあるため、見通しが悪い。 ・歩道側にブロック塀があり、大きな地震の際に逃げ道がない。 ・駅へ向かう通学・通勤の方が児童と逆方向に進んで行くため、自転車等の急いでいる人との接触が心配。 ・用水路の上に蓋をして作った道となっているようで、大きな地震が起きた時に、割れることがないかが心配。	旧道を通行する車両から、横断する車両と歩行者が見えるように対策。	市道の幅員が狭く、対策は難しいが、注意喚起看板の設置などを検討する。	○	○			○					R6での注意喚起看板の設置を検討	
			旧道を通行する車両から、歩行者が出てくることへの注意喚起看板の設置	「歩行者に注意」などの看板設置を検討します。	○	○				○					
			ブロック塀への対応	個別に訪問し、危険ブロック塀の補助金の案内、点検、対策の呼びかけを行っています	○	○	○ (学務課)								
			水路蓋の強度確認	強度等を確認しましたが、現状は問題ありません。今後は、定期的に状況を確認しての対応策を検討します。	○	○						○			

※いずれの対策についても予算措置が必要となります。

※○は対策実施予定

平山小学校危険箇所改善要望及び対策一覧

(指定の通学路外)

2023/8/2

通し番号	危険箇所	現状	改善要望	対策者	回答内容	備考
1	平山2丁目奥山橋下三叉路	「スクールゾーン」のため、7時半から8時半は侵入ができない場所になるが、進入して抜け道として使用している車両がある。	・スクールゾーンなどの時間帯が分かりやすくするための看板の設置 ・車に徐行を促す、看板の設置などがあるとよい。	道路課	スクールゾーン規制区域の市道に入る前に、わかりやすく表示して、入らせないようにする方が望ましいと考える。 車両の速度抑制を促す看板の設置を検討する。	スクールゾーン内に看板を設置済み
			通行する車両に対しての対応(取り締まり等)	警察	取り締まり担当部署へパトロール、取り締まり等を要望しました。	

※いずれの対策についても予算措置が必要となります。